

News! 「ふるさと科」での学びの成果を みさとパビリオンで発表



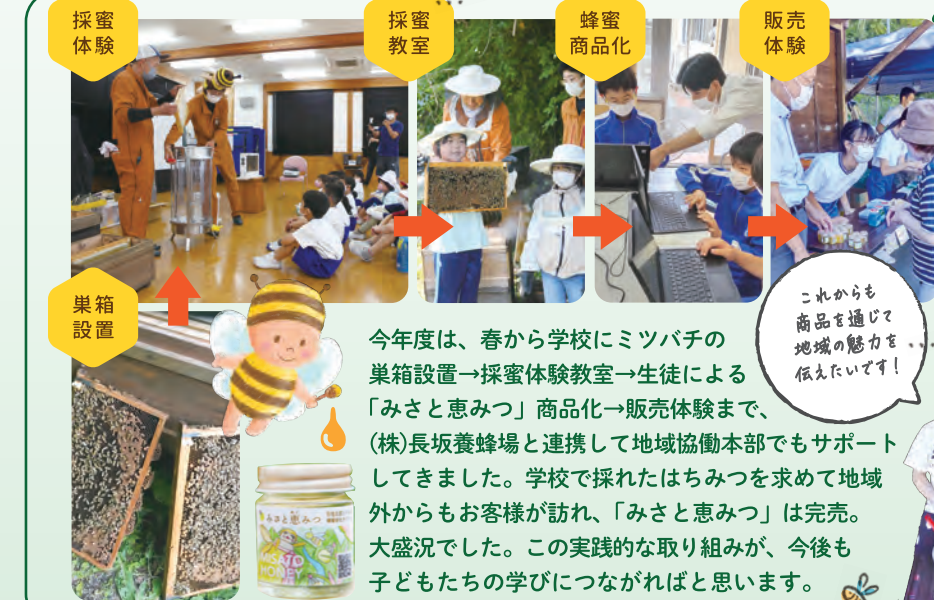
10月29日(土)に、みさとパビリオンが開催されました。1年生から9年生まで一人ひとりが、これまで「ふるさと科」で学んできた成果を友だちや保護者、地域の人々に披露しました。

7・9年生は、昨年までは模擬会社きりやまの課ごとに発表をしてきましたが、今年からは「引佐地域のよりよい未来とは」をテーマとした個人発表となりました。多くの生徒が、地域の魅力をより多くの人に知ってもらうことが重要だとSNSの活用を提案していました。

地域の人口はこの10年間で25%も減少しています。子どもたちのアイデアが少しでも形となり、地域の元気につながることを期待します。

7月には地域の方を講師に招き、テーマを考えるための学習会も開催されました。

「模擬会社きりやま」販売活動報告



今年度は、春から学校にミツバチの巣箱設置→採蜜体験教室→生徒による「みさと恵みつ」商品化→販売体験まで、(株)長坂養蜂場と連携して地域協働本部でもサポートしてきました。学校で採れたはちみつを求めて地域外からもお客様が訪れ、「みさと恵みつ」は完売。大盛況でした。この実践的な取り組みが、今後も子どもたちの学びにつながればと思います。

7月23日、たざわの里で「きりやま夏の陣」が行われました。学校で採れたはちみつ「みさと恵みつ」の販売や、しいちゃんパウダーを使った積極的な試食販売など、新たな取り組みにもチャレンジしていました。今後も、子どもたちが地域の魅力を発見して実践できる場づくりをサポートしていきます。

みんなが激走！ 完走大会



12月2日(金)に、全校児童・生徒が参加する完走大会が開催されました。当日は心配されたほど寒くもならず、お天気にも恵まれ絶好のコンディションで走ることができました。1年前の自分の記録を越えること、笑顔で走ることを目標に掲げて頑張ったという9年生の感想が印象的でした。

今年は、コロナ禍で楽しいイベントが少なくなってしまう子どもたちに少しでも楽しい思い出をつくってもらえたらと、浜川の小出誠さんが地元の食材も使用して製造されているアイスクリームがPTAからプレゼントされました。

朝の読み聞かせ活動



保護者と地域の方のボランティアによる、朝の読み聞かせが9月22日(木)と12月8日(木)に行われました。

読み聞かせに使用する本は、基本的に小中学校図書室から選書されますが、ボランティアの方が、ぜひ子どもたちに紹介したいと感じて持参してくださる絵本や詩集、中学生のクラスでは新聞記事の紹介もしています。様々な分野の作品や時事ニュースにふれることで、なぜだろう？もっと知りたい！の気づきに出会い、知識と心の豊かさが育つてほしいですね。

各教室で読み聞かせがはじまると、子どもたちは良い姿勢で聞き入ったり、時には驚いたり、手をたたいて笑ったりと、表情豊かに楽しんでいました。

知ること、感じることから、様々な扉をノックして、子どもたちの世界がぐんぐん広がりますように。

「図書館開放」休止のお知らせ

地域に開かれた学校づくりの一環として、2018年のコミュニティ・スクール推進モデル校時代にスタートした地域の方への学校図書館開放。大人向け書籍の購入、古本市を拡充した引北ブックフェアの開催、引北ブックニュースの発行、いなさみどりバスを使った図書館の利用促進イベント、返却ボックスの設置など様々な取り組みをしてきましたが、利用時間の短さ、高齢の方の交通手段がないことなどから利用が広がらず、11月30日(水)をもって図書館開放を休止することとなりました。

今後は、学校に足を運んでもらうこととは異なる形で、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。長らくご利用いただいた地域のみなさま、開放にご尽力いただいたみなさまに、この場を借りて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

☆☆☆☆☆☆ 引佐北部小中学校、引佐北部みさと幼稚園のブログもぜひご覧ください ☆☆☆☆☆☆

引佐北部
小中学校



引佐北部小
中学校のフレ
ッシュな情報
を
発信中！



引佐北部
みさと幼稚園



併設する引佐
北部みさと幼
稚園の日々を
発信中！



『コミスクだより』第13号 / 令和4年12月20日

発行：引佐北部小中学校 学校運営協議会 発行人：引佐北部小中学校 学校運営協議会 会長(夏目稔三)

編集：引佐北部小中学校 地域学校協働本部 制作：加藤隆康

〒431-2533 静岡県浜松市北区引佐町四方浄134-6 TEL 053-528-3131 E-mail inasahokubu-ej@city.hamamatsu-szo.ed.jp

引佐北部小中学校
キャラクター
「きりやままる君」





ひとりひとりにいい声掛けデー



毎年11月11日は、浜松市青少年健全育成推進事業の一環である「ひとりひとりにいい声掛けデー」です。私たちの地域でも、朝8時15分から、自治会長、児童民生委員、地域安全推進委員、PTA理事、駐在さんなど健全育成会役員が登校する子どもたちに向けて、あいさつ運動に励んでくださいました。

いつもと違う様子に驚いた表情の子もいましたが、子どもたちもまた、元気に「おはようございます!」と朝のあいさつを交わし、さわやかな声が響いていました。朝一番に気持ちの良いあいさつができると、一日清々しい気分でした。

あいさつは社会生活での基本マナーであり、相手の心を開く魔法のような言葉です。

地域の宝をみんなで大切に 渋川の「大銀杏」の清掃活動

前日の雨でぬれた葉を集めるのは大変でしたが、子どもたちが一生懸命に働いてきれいにしてくれました。来年度以降も渋川地区以外の児童・生徒が参加した清掃活動が実施される予定です。一緒に清掃してください。地域のみなさん、保護者のみなさん、ありがとうございました。



樹齢はなんと600年!
渋川のシンボル「大銀杏」

毎年恒例の渋川のシンボル大銀杏の清掃活動が今年も行われました。今年も地域の方をみんなで大切にしようということで、11月28日(月)の朝は5年生全員がスクールバスで渋川を訪れ、大銀杏の清掃活動を行いました。雨の一日をさみ、30日(水)の朝には旧渋川小学校区の児童・生徒や保護者、地域の方などによる清掃活動が行われました。

特別な夏の思い出! 3年ぶりのサマースクールを開催!



コロナ禍で開催できなかった夏の思い出のサマースクール。「しずたま共育堂」を運営するNPO法人ひずるしい鎮玉の協力も受け、3年ぶりに開催することができました。

8月3日(水)に、長年ボーイスカウトで活動されている寺田智成さんを講師に迎え、田沢の芋田地区にあるボーイスカウトのキャンプサイト「DASH村」にて、アウトドアッキング教室を開催しました。当日は小学生10人が参加し、自分たちで竹を切り出し、火を起こして、バウムクーヘンづくりに挑戦しました。残念ながらバウムクーヘンはうまく焼き上がりませんでした。普段はできない貴重な体験となったようです。

サマースクール動画
ぜひご覧ください



浜松ケーブルテレビ
「浜松山里いきいきレポート」



児童生徒の作品を地域各所で展示しました



コロナ禍となり、展示機会をなかなか持てずにいた子どもたちの絵画作品を、8月下旬から9月末まで、いなさ愛光園、渋川郵便局、鎮玉診療所、JAとぴあ鎮玉支店の4箇所にご協力いただき、展示をいたしました。

訪れる人たちが作品の前で足を止め、子どもたちの元気いっぱいな作品に目を細める姿が見られました。

いなさ愛光園では、車いすを利用するお年寄りの方の目線で見やすいよう、低い位置に展示しましたが、通路を通りかかった利用者の方々に「(作風が)かわいらしくて、上手に描けている。」とお褒めの言葉をいただきました。引佐北部小中学校の子どもたちの、素直で明るく、爽やかな想いが伝わる展示となりました。